

## 特定失踪者

# 周辺調査の徹底を

## 救う会が北朝鮮の動向受け 県警に要望



県警に申し入れた後、記者会見する「救う会・群馬」の大野敏雄事務局長(左)＝県庁で

北朝鮮が日本人拉致被害者らの再調査を行うと日本政府に約束したことを受け、「救う会・群馬 群馬ボランティアの会」は四日、再調査の進展に備え、拉致の可能性を排除できない県内の「特定失踪者」の周辺調査の徹底を県警に要望した。失踪者の家族たちは「無事でいてほしい」と期待する。

(伊藤弘喜)

救う会代表の大野トシ江さん、夫の敏雄事務局長らが、県警の増村悟樹警備部長らと面会。特定失踪者の家族と、県内で行方不明になった人や県内出身者が進む中、必要な周辺調査を急ぐよう求めた。県警側は「(捜査を)継続している」と話したという。救う会などによる

家族の同意を得た三人の氏名や顔写真をホームページで公開し、情報提供を呼び掛けている

## 安中の横田さん妹、進展に望み

「すぐに戻って来るのが難しくても、生きていくことさえ分かれば」。安中市内で姿を消した旧松井田町出身の横田道入さんの妹、真藤真由美さん(仮名)＝藤岡市＝は、再調査の進展に望みをつなぐ。

実家の道入さんの部屋は、二十三歳だった道入さんが四十四年前に暮らしていた当時のまま、手を付けないでいる。実家の裏には、二〇一一年に八十九歳で逝去した母、

## 「消息を知りたい 会えたら話を…」

百代さんが十数年前に道入さんのために建てた新居もある。実家も新居も今は住む人がいないが、真由美さんは週に一度、掃除や庭の草むしりに訪れる。今回、北朝鮮による調査の対象に特定失踪者が初めて含まれた。どうしても期待が膨らむ。「消息を知りたい。また会えたら、留守中にいろいろあったことを話したい」

方不明になった井上克三さんは次の方々。  
▽七〇年に安中市内のバス停で目撃された後、姿を消した旧松井田町(現安中市)の横田道入さん＝同(三三)  
▽七八年に自宅から失踪した旧群馬町(現高崎市)の加藤八重子さん＝同(三三)